

足立悦男先生 著作目録

〔著書〕

- 『現代日本文学の旗手たち』 溪水社 一九七五
『中学・高校 現代詩の授業』 文化評論出版 一九七八
『国語教材研究・詩編』（小沢俊郎・足立悦男著） 桜楓社 一九八一
『西郷文芸学の成立と展開』（西郷竹彦・足立悦男著） 明治図書 一九八二
『新しい詩教育の理論』 明治図書 一九八三
『現代少年詩論―子どもにとって詩とは何か』 明治図書 一九八七
『研究・文芸研の授業』 明治図書 一九九三
『西郷文芸学の研究』 恒文社 一九九九

〔編著〕

- 『国語科授業の課題と創造』 小田迪夫・足立悦男編 第一法規 一九八二
『小説教材の作品論的研究』 田近洵一・足立悦男編 教育出版 一九八三
『国語科教育論』 中本環・足立悦男編 東信堂 一九八八
『文学教育基本論文集』（四卷） 西郷竹彦・浜本純逸・足立悦男編 明治図書 一九八八
『西郷竹彦文芸・教育全集』（三十四卷・別巻二卷） 足立悦男編集・解題 恒文社 一九九六―一九九九

〔論文〕

- 一 「冬景色論争論―西郷文芸学の原理的考察」 『国語教育研究』 第二〇号 広島大学教育学部光葉会 一九七三
（『文芸教育』 第一一号 明治図書 一九七四、に再録）
二 「評論の視点―大江健三郎『ヒロシマ・ノート』」 『国語科研究紀要』 第六号 広島大学附属中・高等学校 一九七三

- 三 「吉野弘『I was born』の授業」小川和佑ほか編『現代詩の教え方』右文書院 一九七五
- 四 「文学論教材（小説論）」小海永二ほか編『国語科教育研究講座』第六卷 有精堂 一九七五
- 五 「古典教育試論」『国語研究紀要』第七号 広島大学附属中・高等学校 一九七五
- 六 「『推測』の虚と実——生徒の『ヒロシマ・ノート』論」『研究紀要』第二〇集 広島大学附属高等学校 一九七五
- 七 「日常語を考える——単元『新聞の研究』」『研究紀要』第二二集 広島大学附属高等学校 一九七五
- 八 「現代詩の授業——中学校三年生」『国語教育研究』第二二号 広島大学教育学部光葉会 一九七五
- 九 「現代詩の授業——詩と詞の世界」『研究紀要』第二二集 広島大学教育学部附属中学校 一九七六
- 一〇 「現代詩の授業——安水稔和の世界」『国語教育研究』第二二号 広島大学教育学部光葉会 一九七六
- 一一 「現代詩の授業」『研究紀要』第二二集 広島大学教育学部附属高校 一九七六
- 一二 「現代詩への道標——発想とイメージ」『研究紀要』第二三集 広島大学教育学部附属中学校 一九七七
- 一三 「跳べないイカロス——岡真史論」『児童文学評論』第一三三号 大阪新児童文学会 一九七七
- 一四 ～二四 「連載・西郷文芸学の成立と展開 一～一一」『文芸教育』第二二号～第三二号 明治図書 一九七八～一九八一
- 二五 「叛意の風景——佐江衆一の初期短編」『児童文学評論』第一四号 大阪新児童文学会 一九七八
- 二六 「詩・短詩型文学の教材研究」中西一弘編『国語科教育の理論と展開』第一法規 一九八〇
- 二七 「日常が詩に変わるとき」『文芸教育』第二九号 明治図書 一九八〇
- 二八 「戦後の児童詩教育論争」『国語教育研究』第二六号 広島大学教育学部光葉会 一九八〇
- 二九 「新しい詩の授業をめざして」『国語の教師』第二号 鷺書房 一九八一
- 三〇 「高村光太郎『ぼろぼろな駝鳥』」小海永二ほか編『講座・中学校国語科教育の理論と実践』第五卷 有精堂 一九八一
- 三一 「垣内理論と西郷文芸学」『学大国文』第二五号 大阪教育大学国語国文学研究室 一九八一
- 三二 「西郷文芸学の歴史的検討——文芸理論から授業理論へ」『文芸教育』第三四号 明治図書 一九八一
- 三三 「詩教育に関する一考察」『大阪教育大学紀要』第三〇巻 三三号 一九八一
- 三四 「言葉の亀裂との出会い」『日本文学』昭和五七年二月号 日本文学協会 一九八二
- 三五～三七 「連載・詩の指導 一～三」『月刊国語教育研究』昭和五七年一月号～三月号 東京法令出版 一九八二

- 三八「国語教育の危機と児童文化」『月刊国語教育研究』昭和五七年五月号 一九八二
- 三九「詩教材研究の方法」大河原忠蔵ほか編『中学校国語科教材研究演習』くろしお出版 一九八二
- 四〇「国語科授業と発問の研究」足立悦男・中本環編『国語科授業の課題と創造』第一法規 一九八二
- 四一「入門期詩教育論」『国語教育学研究誌』第四号 大阪教育大学国語教育研究室 一九八二
- 四二「『魚だって人間なんだ』（草野心平）の授業」『文芸教育』第三六号 明治図書 一九八二
- 四三「西郷文芸学問題史」『文芸教育』第二七号 明治図書 一九八二
- 四四「授業研究への提言」『国語教室』昭和五七年一〇月号 大修館書店 一九八二
- 四五「那珂太郎の『戦後』意識」『大阪教育大学紀要』第三一卷二二二号 一九八三
- 四六「話者と詩人―入沢康夫論（一）」『学大国文』第二六号 大阪教育大学国語国文学研究室 一九八三
- 四七「『ベンチ』（リヒター）論―視点構造と装置」田近洵一・足立悦男編『小説教材の作品論的研究』教育出版 一九八三
- 四八「詩の授業は鑑賞指導だけでよいか」『教育科学国語教育』昭和五八年六月号 明治図書 一九八三
（足立悦男ほか編『文学教育基本論文集』第四卷 明治図書 一九八八、に再録）
- 四九「五五」連載・少年詩の世界 一〇七」『文芸教育』第三八号〜第四七号 明治図書 一九八三〜一九八五
- 五六「萩原朔太郎『竹』『大渡橋』」増淵恒吉ほか編『国語教育研究講座・高等学校現代文』有精堂 一九八三
- 五七「大造じいさんとがん（椋鳩十）」浜本純逸ほか編『文学教育実践史事典』明治図書 一九八三
- 五八「サーカスの馬（安岡章太郎）」浜本純逸ほか編『文学教育実践史事典』明治図書 一九八三
- 五九「読む・入沢康夫『売家をつもっています』」『日本文学』昭和五八年一二月号 日本文学協会 一九八三
- 六〇「俳句の現代に挑む―坪内稔典句集『落花落日』」『茜』第二号 茜発行所 一九八四
- 六一「引用・自注の方法―入沢康夫ノート」『凡』第二号 凡の会 一九八四
- 六二「西郷文芸学の詩論」『大阪教育大学紀要』第三二卷二一三二号 一九八四
- 六三「詩のことばとその指導」増淵恒吉編『国語教育の課題と創造』有精堂 一九八四
- 六四「文学教材の本質と研究法―伝記・戯曲教材」飛田多喜雄ほか編『中学校国語科指導法講座』第六卷 明治図書 一九八四
- 六五「話者と読者―入沢康夫論（二）」『学大国文』第二七号 大阪教育大学国語国文学研究室 一九八四

- 六六 「国語・文学教材の特質と展開」 田代高英ほか編 『教育学研修講座』第六卷 第一法規 一九八四
- 六七 「中学・高校の詩教育」 日本文学協会編 『講座・現代の文学教育』第五卷 新光閣 一九八四
- 六八 「詩の授業」 『月刊・国語教育』昭和六〇年三月号 東京法令出版 一九八五
- 六九 「(私)の居ない現代詩」 入沢康夫論 『路上』第四七号 路上発行所 一九八五
- 七〇 「話者と人称」 入沢康夫論(三) 『学大国文』第二八号 大阪教育大学国語国文学研究室 一九八五
- 七一 「引用・模倣の方法」 入沢康夫ノート 『凡』第三号 凡の会 一九八五
- 七二 「(私)の居ない風景」 坪内稔典論 『現代俳句入門』沖積舎 一九八五
- 七三 「見方の詩教育と他教科の関連」 『実践国語教育情報』昭和六〇年一〇月号 東京法令出版 一九八五
- 七四 「理解教材の研究と視点」 教員養成研究会編 『国語科授業研究』教育出版 一九八五
- 七五 「関連・系統指導をめざす文芸教育」 文芸研の場合 『国語科教育学研究』第九号 明治図書 一九八五
- 七六 「自己引用の方法」 入沢康夫ノート 『国語科研究紀要』第一六号 広島大学附属中・高等学校 一九八五
- 七七 「死者たちの現代詩」 入沢康夫論 『大阪教育大学紀要』第三四卷第二号 一九八五
- 七八 「話者とエスキス」 入沢康夫論(四) 『学大国文』第二九号 大阪教育大学国語国文学研究室 一九八六
- 七九 「ファンタジー教材をどう読むか」 『国語教育評論』第五号 明治図書 一九八六
- 八〇 「茨木のり子の詩的表現」 表現学会編 『現代詩の表現』教育出版センター 一九八六
- 八一 「川崎洋の詩的表現」 表現学会編 『現代詩の表現』教育出版センター 一九八六
- 八二 「文芸教材でどんな力を育てるか」 『国語の手帳』第四号 明治図書 一九八六
- 八三 「俳句教材の扱いについて」 『国語教育雑誌』第一三三号 京都府私立中学・高等学校研究会 一九八七
- 八四 「遠近法感覚」 新川和江論 『月刊国語教育』昭和六二年五月号 東京法令出版 一九八七
- 八五 「短歌にとって虚構とは何か」 『日本文学』昭和六二年七月号 日本文学協会 一九八七
- 八六 「黒田三郎『夕方の三十分』」 浜本純逸ほか編 『文学教育実践史事典 第二集』明治図書 一九八七
- 八七 「文学的文章(詩歌)」 鑑賞指導論をめぐる 飛田多喜雄編 『実践教職課程講座』第三三卷 日本教育図書センター 一九八八
- 八八 「文学教育の課題」 田近洵一ほか編 『国語・三年の授業』あゆみ出版 一九八八
- 八九 「理解教材の研究の視点」 教員養成基礎教養研究会編 『新訂小学校国語科授業研究』教育出版 一九八八

- 九〇〇九五「詩教育の理論的研究 一〇六」『島根大学教育学部紀要』第二二巻〜第二七巻 一九八八〜一九九三
- 九六「『擬私』という方法―坪内稔典論」『船団』第六号 南方社 一九八九
(現代俳句文庫1『坪内稔典句集』ふらんす堂 一九九二、に再録)
- 九七「詩教育と読解指導」『月刊国語教育研究』平成元年八月号 日本国語教育学会 一九八九
- 九八「読む・吉野弘『夕焼け』」『日本文学』平成元年十月号 日本文学協会 一九八九
- 九九「まど・みちおの技法」『島大国文』第一八号 島根大学国文会 一九八九
- 一〇〇「詩歌・指導の実際」倉沢栄吉ほか編『国語科教育法概説』有精堂 一九九〇
- 一〇一〜一〇六「連載・文学教育批判を斬る 一〇六」『文芸教育』第五一号〜六一号 明治図書 一九九〇〜一九九二
- 一〇七「子どもの詩をどう教材化するか」『教科通信』第二七巻第一四号 教育出版 一九九〇
- 一〇八「詩歌の授業―授業活性化の提案」大槻和夫ほか編『たのしくわかる国語』あゆみ出版 一九九〇
- 一〇九「国語の教材研究と授業の改善」大槻和夫編『国語教育学』福村出版 一九九〇
- 一一〇「新しい詩をどう教材化するか」『月刊国語教育』平成二年一二月号 東京法令出版 一九九〇
- 一一一「文芸研の宮沢賢治研究」『文芸教育』第五四号 明治図書 一九九一
- 一一二「異化論と児童詩教育」『国語科教育』第三八集 全国大学国語教育学会 一九九一
- 一一三「高等学校国語教育の実際―詩歌」全国大学国語教育学会編『国語科教育研究』学芸図書 一九九一
- 一一四「小野十三郎の詩的表現」表現学会編『現代詩の表現』教育出版センター 一九九一
- 一一五「言語感覚と言語認識」『月刊国語教育研究』平成四年七月号 日本国語教育学会 一九九二
- 一一六「文芸研の新美南吉研究史」『文芸教育』第五九号 明治図書 一九九二
- 一一七「俳句を授業する(大学の実践)」『文芸教育』第六〇号 明治図書 一九九二
- 一一八「異化論と児童詩教育―山際鈴子の教育実践」『教育実践研究』第二号 島根大学教育学部附属教育実践研究指導センター 一九九二
- 一一九「『故郷』(魯迅)をめぐる問題史」『研究紀要』第四五号 教育調査研究所 一九九二
- 一二〇「文芸研のまど・みちお研究史」『文芸教育』第六四号 明治図書 一九九三
- 一二一「異化論と詩教育―吉野弘の教材化」『島大国文』第二二号 島根大学国文会 一九九三

- 一一二 「西郷美学と詩の授業」 『文芸教育』第六五号 明治図書 一九九三
- 一一三 ～ 一二八 「連載・異化論と詩教育 一～六」 『月刊国語教育研究』平成五年四月号～九月号 日本国語教育学会 一九九三
- 一二九 「空白」を読む 『国語教育学研究誌』第一四号 大阪教育大学国語教育研究室 一九九三
- 一三〇 「異化論と児童詩教育―山際鈴子の中学年の実践」 『国語教育論叢』第四号 島根大学教育学部国文学会 一九九四
- 一三一 「イメージマップによる創作詩の指導」 『教育実践研究』第四号 島根大学教育学部附属教育実践研究指導センター 一九九四
- 一三二 「文芸研の木下順二研究史」 『文芸教育』第六八号 明治図書 一九九四
- 一三三 「主題指導をめぐる争点」 『教育科学国語教育』平成七年一月号 明治図書 一九九五
- 一三四 「創作指導の原理をさぐる―俳句を作る」実践から 『月刊国語教育研究』平成七年三月号 日本国語教育学会 一九九五
- 一三五 「『夕焼け』論争をめぐる―道徳教育と文学教育」 『日本文学』平成七年三月号 日本文学協会 一九九五
- 一三六 「学部教育における表現指導の新しい試み」 『教科教育学研究』第一三集 日本教育大学協会 一九九五
- 一三七 「言語技術を切り口として文学の世界を教える」 『言語教育技術』第四号 明治図書 一九九五
- 一三八 「日付のある俳句―坪内稔典句集『人麻呂の手紙』」 『船団』第二五号 船団の会 一九九五
- 一三九 ～ 一四一 「話者論と詩教育 一～三」 『島根大学教育学部紀要』第二九巻～第三一巻 一九九五～一九九七
- 一四二 「教室における民話の世界」 日本国語教育学会編『日本の民話・世界の民話』図書文化社 一九九六
- 一四三 「『ことばあそび』の授業を問い直す」 『学校教育』平成八年六月号 広島大学附属小学校 一九九六
- 一四四 「西郷竹彦の文芸学」 『月刊国語教育』平成八年五月号 東京法令出版 一九九六
- 一四五 ～ 一四七 「西郷文芸学の研究 一～三」 『文芸教育』第七三号～第七五号 明治図書 一九九六～一九九八
- 一四八 「日本の文学教育の現状と課題」 『語文教育』第一八号（韓国） 韓国語文教育学会 一九九六
- 一四九 「詩教材で何を教えるべきか―異化の学力を求めて」 『月刊国語教育』平成八年一〇月号 東京法令出版 一九九六
- 一五〇 「国語科教育と人間形成―『他者』との出会い」 『教育実践研究』第七号 島根大学教育学部附属教育実践研究

指導センター 一九九七

一五一 「自己評価・相互評価の新しい視点を提示する」 飛田多喜雄ほか編 『新中学校国語科経営講座6』 明治図書 一九九七

一五二～一五三 「韓国・国語教科書の詩 一〇二」 (金京姫との共著) 『教育実践研究』 第九号〇第一〇号 島根大教育学部附属教育実践指導センター 一九九七～一九九八

一五四 「『昔話』に関する日韓の比較・考察」 『教育実践研究』 第九号 島根大教育学部附属教育実践指導センター 一九九七

一五五 「現代詩における模倣の試み―入沢康夫の方法」 『日本文学』 平成一〇年一月号 日本文学協会 一九九八

一五六 「『わすれられないおくりもの』の教材としての新しさ」 筑波大学附属小学校 『子どもの心が動く授業』 東洋館出版社 一九九八

一五七 「西郷文芸学の虚構論」 『島根大学教育学部紀要』 第三三卷 一九九八

一五八 「現代高校生の夢と漱石の夢」 田中美・須貝千里編 『新しい作品論へ、新しい教材論へ』 右文書院 一九九八

一五九 「日韓国語教科書の昔話・民話教材」 『日韓相互理解教育プログラムの開発研究』 文部省科学研究費 (国際学術研究) 一九九九

一六〇 「異化の詩教育学」 『国文学攷』 第二六一号 広島大学国語国文学会 一九九九

一六一 「感覚的生活詩の先駆者―稲村謙一の児童詩論」 『月刊国語教育研究』 平成一二年三月号 日本国語教育学会 一九九九。

一六二 「西郷文芸学の俳句論」 『創流』 平成一一年七月号 創流俳句会 一九九九

一六三 「文芸研の系統表の提起したもの」 『文芸教育』 第七七号 明治図書 一九九九

一六四 「異化の詩教育学―実践个体史研究」 『島根大学教育学部紀要』 第三三卷 一九九九

一六五 「比較文学教育の試み―日韓子ども文化の比較をとおして」 『日本文学』 平成一二年一月号 日本文学協会 二〇〇〇

一六六 「韓国・国語教科書の詩 (三)」 (鄭淳功との共著) 『教育実践研究』 第一一号 島根大学教育学部附属教育実践指導センター 二〇〇〇

一六七 「文芸研の総合的学習」 『文芸教育』 第七八号 明治図書 二〇〇〇

- 一六八 「詩歌を読み味わう学習指導改善の方策」 飛田多喜雄ほか編 『生きてはたらく国語の力を育てる授業の創造』ニチブン 二〇〇〇
- 一六九 「文芸研のあまきみこ研究」 『文芸教育』第七九号 明治図書 二〇〇〇
- 一七〇 「異化の詩教育学―教材編成の理論と方法」 『島根大学教育学部紀要』第三四卷 二〇〇〇
- 一七一 「『お手紙』―空白を読む」 田中実・須貝千里編 『文学の力×教材の力 小学校編一年』教育出版 二〇〇一
- 一七二 「読むことの教材研究」 田近洵一ほか編 『新版・国語科授業研究』教育出版 二〇〇一
- 一七三 「教材研究の視点―読むこと」 大熊徹ほか編 『新版小学校国語科授業研究』教育出版 二〇〇一
- 一七四 「日本の文学教育(釜山教育大学校集中講義) 『教育実践研究』一二号 島根大学教育学部附属教育実践研究指導センター 二〇〇一
- 一七五 「文学教育の行方」 『日文協国語教育』第三一号 日本文学協会 二〇〇一
- 一七六 「西郷文芸学の話者論とナラトロジーの話法論」 『文芸教育』第八〇号 明治図書 二〇〇一
- 一七七 「文芸研と読み研の授業」 柴田義松ほか編 『国語科新教材の徹底分析』学文社 二〇〇一
- 一七八 「批判的読み―これまでの理論・実践の特徴」 『教育科学国語教育』平成一三年六月号 明治図書 二〇〇一
- 一七九 「日韓文学教材の実践交流―『こいぬのうんち』をめぐって」 『月刊国語教育研究』平成一三年七月号 日本国語教育学会 二〇〇一
- 一八〇 「授業研究『のはらうた』の世界―アンソロジーの授業」 『国語教育論叢』第一一号 島根大学教育学部国文学会 二〇〇一
- 一八一 「異化の詩教育学―存在型の受容指導」 『島根大学教育学部紀要』第三五卷 二〇〇一
- 一八二 ～ 一八四 「韓国中学校国語教科書の研究 一～三」 『教育臨床総合研究』第一号～第三号 島根大学教育学部附属教育臨床研究センター 二〇〇二～二〇〇四
- 一八五 「詩歌」 『中学校・高等学校 国語科教育研究』全国大学国語教育学会 学芸図書 二〇〇二
- 一八六 「子どもの文学の世界」 『第二七回島根県国語教育研究大会出雲大会報告集』島根県国語教育研究会 二〇〇二
- 一八七 「文学的文章の領域における実践研究の成果と展望」 全国大学国語教育学会編 『国語科教育研究の成果と展望』明治図書 二〇〇二
- 一八八 「異化の詩教育学―思想型の受容指導」 『島根大学教育学部紀要』第三六卷 二〇〇二

- 一八九「古典的随筆と現代高校生との読み―寺田寅彦『案内者』」田中実・須貝千里編『新しい作品論へ、新しい教材論へ』第一巻 右文書院 二〇〇三
- 一九〇「知の学びと感性の学び―私の詩教育学」『学校教育』平成十五年二月号 広島大学附属小学校 二〇〇三
- 一九一「感性の学びと知性の学び―日韓相互理解教育の試み」『月刊国語教育研究』平成一五年三月号 日本国語教育学会 二〇〇三
- 一九二「意味を問うことで文芸作品の読みはどう深まるか」西郷竹彦編著『意味を問う教育』明治図書 二〇〇三
- 一九三「これからの文学教育―比較文学教育の試み(韓国と日本)」『国語科教育』第五四集 全国大学国語教育学会 二〇〇三
- 一九四「異化の詩教育学―時間型の受容指導」『島根大学教育学部紀要』第三七巻 二〇〇三
- 一九五「日韓・民話絵本の読み聞かせ実践―『おんちよろちよろ』と『フォルフォルカンド』」『教室からアジアが見える・となりの国韓国 II』島根県日韓合同民話授業研究会 二〇〇四
- 一九六「このウタをあの人に―詩歌の鑑賞学習における『伝え合い』の工夫」『中学校国語科教育授業実践資料集』第一集 ニチブン 二〇〇四
- 一九七「異化の詩教育学―空間型の受容指導」『島根大学教育学部紀要』第三八巻 二〇〇四
- 一九八「村上春樹『リーダーホーゼン』論―教材としての可能性」『国語教育論叢』第一四号 島根大学教育学部国文学会 二〇〇五
- 一九九「日韓・合同授業研究の試み―『海を渡った神様』『こぶとりじいさん』」『月刊国語教育研究』平成一七年六月号 日本国語教育学会 二〇〇五
- 二〇〇「異化の詩教育学―ことば型の受容指導」『島根大学教育学部紀要』第三九巻 二〇〇五
- 二〇一「物語受容の比較文化的研究―二つの『きつね』物語をテキストとして」『島根大学教育学部附属教育支援センター紀要』第四号 二〇〇五
- 二〇二「韻文の学習指導」倉沢栄吉ほか編『国語教育講座2 読むことと教育』朝倉書店 二〇〇五
- 二〇三「文芸教育研究協議会の理論・実践史」文芸研編『国語教育事典』明治図書 二〇〇五
- 二〇四「異化の詩教育学―存在型の創作指導」『島根大学教育学部紀要』第四〇巻 二〇〇六
- 二〇五「『人間』を教える詩の授業」西郷竹彦編著『詩の授業で人間を教える』明治図書 二〇〇六

- 二〇六 「異化論と主体的児童詩」 『えぼっく』第三〇号 「えぼっく」編集室 二〇〇七
- 二〇七 「中国・小学校国語教科書の詩」 (郭丹との共著) 『島根大学教育学部附属教育支援センター紀要』第六号
二〇〇七
- 二〇八 「詩における教材研究の方法論―空白を読む」 柴田義松ほか編『国語科授業の改革 7』学文社 二〇〇七
- 二〇九 「異化の詩教育学―思想型の創作指導」 『島根大学教育学部紀要』第四一巻 二〇〇七
- 二一〇 「日本国語教科書の中国文学―漢詩(古詩)―」 『課程改革与社会進歩』(中国) 浙江大学教育学院編 二〇〇七
- 二一一 「詩の授業―感性を支える知の学び」 『月刊国語教育研究』平成一九年二月号 日本国語教育学会 二〇〇七
- 二一二 「『故郷』を読み直す―楊おばさんをめぐる物語」 『日文協国語教育』第三八号 日本文学協会 二〇〇八
- 二一三 「玄妙な文芸世界の謎を解く―西郷模式図」 『文芸教育』第八八号 新読書社 二〇〇八
- 二一四 「日韓民話文学の比較研究―『かにむかし』と『あずきがゆばあさんとら』」 (李普銀との共著) 『島根大学教育学部附属教育支援センター紀要』第七号 二〇〇八
- 二一五 「異化の詩教育学―時間型の創作指導」 『島根大学教育学部紀要』第四二巻 二〇〇八
- 二一六 「読むことの学習指導の展開 中学・高校の文学」 『国語科教育実践・研究必携』全国大学国語教育学会 学芸
図書 二〇〇八
- 二一七 「教材研究の視点―読むこと」 田近洵一ほか編『小学校国語科授業研究 第四版』教育出版 二〇〇八
- 二一八 「中学校・高校の文学」 全国大学国語教育学会編『国語科教育実践・研究必携』学芸図書 二〇〇九
- 二一九 「戦後民間教育運動と国語科教育研究―読むことの視点から」 『国語科教育』第六六集 全国大学国語教育学会
二〇〇九
- 二二〇 「異化の詩教育学―空間型の創作指導」 『島根大学教育学部紀要』第四三巻 二〇〇九
- 二二一 「短詩型創作指導の意義と方法」 『国語科教育』第六七集 全国大学国語教育学会 二〇一〇
- 二二二 「詩歌の学習指導の方法」 全国大学国語教育学会『中学校・高等学校国語科教育研究』学芸図書 二〇一〇
- 二二三 「『問い』で読み深める―武田常夫の授業」 『月刊国語教育研究』平成二二年八月号 二〇一〇
- 二二四 「『二相ゆらぎ』の文芸学」 『文芸教育』第九一号 新読書社 二〇一〇
- 二二五 「実践研究―『人間の生き方』に関して」 日本国語教育学会編『国語単元学習の創造Ⅳ 中学校編』東洋館書店
二〇一〇

- 二二六 「『雨ニモマケズ』の『ヒデリ』論争―入沢康夫の一語をめぐる探求」 『文芸教育』第九二号 新読書社
二〇一〇
- 二二七 「異化の詩教育―ことは型の創作指導」 『島根大学教育学部紀要』第四四卷 二〇一〇
- 二二八 「異化の詩教育学―その構想と展望」 『論叢国語教育学』広島大学大学院教育学研究科国語文化教育講座
二〇一〇
- 二二九 「読書へのアニマシオン―その可能性」 『月刊国語教育研究』平成二三年五月号 日本国語教育学会 二〇一一
- 二三〇 「山際鈴子先生の児童詩教育―子どもの想像力を拓く教育」 児玉忠・大阪児童詩の会編『見つめる力・発見する
力を育てる児童詩の教育』銀の鈴社 二〇一一
- 二三一 「村上春樹『リーダーホーゼン』論―教材としての可能性」 馬場重行・佐野正俊編『〈教室〉の中の村上春樹』
ひつじ書房 二〇一一（一九八を改稿）